

【謹賀新年】

JOUHOKU SHINDAN 誌 第50号

JOUHOKU SHINDAN

誌

新年あけましておめでとうございます。今回は記念すべき JOUHOKU SHINDAN 誌 50 号であり、かつ今年初めての発行であるため、華やかなデザインを採用しました。本号は、①長谷川支部長による新年のご挨拶、②昨年末開催された第2回セミナーバトルの対戦者のご感想、③恒例のプロコン塾生のひとり言および④城北支部認定の研究会・同好会の紹介記事で構成しております。今年も広報部および JOUHOKU SHINDAN 誌をどうぞよろしくお願いいたします。

新年のご挨拶

城北支部長 長谷川猛先生



新年明けましておめでとうございます。

城北支部会員の皆様には良い年を迎えられたことお慶びを申し上げます。私が支部長を仰せつかって約半年、支部スローガンを「診断士を楽しもう」として推進してきております。

1) コミュニケーションを楽しむ。

直近では1月19日(土)の賀詞交換会があります。若手からシニアまで居心地のいい人脈交流ができます。今年には会員500人達成を記念して「500番目会員」記念イベントが企画されております。楽しいものになります。是非ご参加ください。

2) ビジネスを楽しむ。

昨年の年末には中小企業庁が発刊する「はばたく300社/商店街30選」を受注した凸版印刷から原稿作成を城北支部が受託しました。短期間の納期のため広く会員の皆様に募集したところ、わずか3日で60名を超えました。皆様のご協力に深く感謝いたします。引き続き城北CDBに登録している先生方には募集案件が来ております。未登録の先生には是非ご登録をお勧めいたします。ビジネスチャンスをお逃さないようお願いいたします。

3) スキルアップを楽しむ。

第6期のプロコン塾も城北支部独自のレポート大賞に向けて、レポート作成が佳境に入っております。今ひと踏ん張りのところですが、そこを乗り越えてこそスキルアップを楽しむことができます。発表の機会が増え、益々レベルアップが認められ、ビジネスにも繋がっていきます。支部認定の研究会も独自性のある専門的なスキルが得られるよう活発に活動しております。

4) 連携を楽しむ。

城北支部は台東区、荒川区、北区、板橋区、練馬区の全てに区会があることが特徴です。しかも一般社団又はNPOの法人組織になっていて、区会それぞれにコミュニケーションづくり、ビジネス機会、スキルアップに取り組んでおります。そこで城北支部として区会との連携を強化することにしました。区会同士の連携もあります。まだスタートしたばかりですが、新たな出会いを楽しむことになれば嬉しいです。

以上を推進していくためには、「まずは参加しなければ楽しめない」ということ。参加を促す情報発信や情報交流を活発にして、イメージも高める必要があります。そこで城北支部HPの刷新などを計画しております。

最後になりますが、「一人ひとりの顔が見える城北支部」。会員の皆様一人ひとりが診断士であることを楽しめるよう祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

第2回セミナーバトル 出場者の感想コメント

城北支部 竹内ゆうすけ先生、金岩由美子先生

■ 竹内ゆうすけ先生

第2回「セミナーバトル」では、「二代目社長が“会社を潰さないための”中小企業によるハラスメント対策講義」と題してお話をさせていただきました。セミナーバトルの基本理念は「現時点で自身が専門としていない（有償の仕事をしていない）分野について新たに学んで人前で披露すること」です。私が第1回の「人工知能」の次に選んだテーマは「ハラスメント」でしたが、勉強し始めた直後、困ってしまったのは「このセミナーは誰が買ってくれるのだろうか」という点でした。セミナーバトルで作ったコンテンツは“現時点では詳しくないが将来的に自身の専門分野として講演や研修で使う”ことを目指しています。しかし、実際に中小企業でハラスメントをしている経営者や幹部社員は自身のハラスメントに無自覚なケースが多く、ハラスメント対策セミナーを聴きに来る可能性は低いことに気づいてしまったのでした。そこで事業承継によって次期社長となる方にターゲットを設定し直しました。幸いにも勝者として次の第3回セミナーバトルへの挑戦権をいただけたのも、このターゲット設定を評価していただけたのかなと思います。参加者として審査していただいた先生方、運営にご尽力いただいた青年部の皆様、そして対戦相手に手を挙げてくださった金岩先生にあらためて御礼申し上げます。第3回も良いセミナーを披露できるよう精進します。

■ 金岩由美子先生

第2回セミナーバトルに挑戦させていただきありがとうございました。「若手のゆるい実践の場」という青年部の懐の深いコンセプトのもと、よい経験をさせていただきました。企画運営に携わった青年部の皆さま、受講者としてアンケートでご指導いただいた先輩方、そして何より胸をお貸しいただいた竹内先生に心よりお礼申し上げます。

独立診断士としてご活躍されている竹内先生の講義は、セミナー設計におけるターゲット設定、資料の内容、知識全てが素晴らしく、学ぶことばかりでした。単に受講者として竹内先生のセミナーを受講していた

ら、そのような気づきはなかったと思います。自分が挑戦したからこそ、自分ができていない部分に気づくことができました。

私は企業内診断士のため、漠然とプレゼンスキルを向上したいと思って挑戦しましたが、井上青年部長からいただいた「ターゲットを中小企業の経営者にした場合、どのようなアレンジができるか」というご質問では、独立後にはセミナーをフロントエンドとし、バックエンドに繋げることを意識するきっかけになりました。

若手の皆さま、こんなに学びの多い機会はないと思います。ぜひ挑戦なさってください！

最後になりましたが、広報部の皆さまには当日のビデオ撮影や今回の感想寄稿により、振り返りの機会を頂戴しましたこと、お礼申し上げます。

広報部から一言：

第1回と同様に第2回セミナーバトルの様子をダイジェスト動画で配信予定です。広報部の岡本陽介先生が現在鋭意動画を編集中です。準備が整いましたらメーリングリストでご案内しますので、ぜひご期待ください！

城北プロコン塾より ～「塾生のひとりごと」～

城北支部 田原績先生 (it@taharaya.co.jp)



出身校はどこですか、と聞かれたら「千葉YMCAです。」と答えたいくらい、学生時代はYMCAでのボランティア活動に入れ込んでいました。ひらたく言えば、子供達の遠足の引率のお兄さんです。動物園、森林公園、いも掘り、地引き網、サイクリング、潮干狩り、運動会・・・1年中飽きることなく子供たちと活動を楽しみました。その上、夏休みはキャンプ場、冬はスキー場と、家にいる暇がほとんどありません。このボランティア活動を通して、様々な体験をさせていただけたことは言うまでもありませんが、その中でも、特に2つのことは今の私に大きな影響を与えています。

1つめは、その子供たちが、大人になってからは私の先生になっていることです。当時は大人と子供の違いでしたが、今となっては友人関係です。たとえば、彼らが大学生の頃パソコン通信でメールを使うことを教えてもらうことができたため、私は同年代に比べると、比較的早い段階からハードルを低くしてITに親しむ事ができました。

2つめは、開発途上国に派遣していただくチャンスを得たことです。派遣された1970年代のフィリピンは独裁政権下で、貧しい地域も多かったのですが、ルソン島の貧しい田舎で2ヶ月程過ごした経験は、人間は貧しい中にあっても優しい人が多いことと、子供たちはどこでも明るく逞しいことを学ぶことができました。そして、日本は戦争で嫌われたことより、期待されていることの方が大きい事を肌で感じる事ができたことは忘れられません。

現在、診断士としては、まだまだ駆け出しの2年目です。今年、家内の実家のある福島県の協会にも登録し、月1回土曜日に開催される診断能力向上のための研究会に通っています。本業は、後を継いだ家業を営んでおりますので、事業承継や経営の経験も活かしながら、福島県の中小企業様のお役に立つことも目指してがんばります。



一遍稽古

子供の頃（もう四十年くらい前か？（笑））流行っていたアニメに「機動戦士ガンダム」があった。今はもうガンダムものとして日本アニメの基幹コンテンツともなっている。後半以降は認識力が拡大したニュータイプなるものがサイコニューという遠隔情報伝達装置を使って戦う話になるが、それを見た私の高校の時の友人が「つまり、これはワープロが使える新人類 OL の話だな。」と纏めたのがすごい印象的な話であった。IT を得意分野とする診断は、士の方の話では新技術というものは 10 代～20 代までに普及したものでなくては自分のものとして使いこなすのは難しいそうだ。確かに今情報診断研究会などにて少しでも今の IT を学ぼうとはするが、自分の思考方法は基本的にアナログなのを勉強するたびに自覚するばかりだ。電子書籍などを利用はするが、紙の本の方がしっくりくる。勉強しようとする時はやはり紙とペンがなければいけないものではない。

私より昔の人はどうだったのだろうか。落語家は 3 遍稽古と言われる。演目は紙にならず、ビデオもない時代では、目の前の師匠の演技をしっかりと見、聞き、感じて理解することが必要だったのであろう。今はテープなどで何回も聞いて練習するらしいが、昔は限られた時間で理解、暗記をしなければいけなかったのだから並大抵の集中力ではできなかつたと思われる。

今回、プロコン塾に参加し、生身の講師の方々の思想、思考法、伝達方法に 10 回も触れる機会が得られる。昔の落語家の様に集中して吸収し、自らの血肉になる様にしていきたい。話も講師のコピーではなく、自分の中でしっかりと消化されたものとして人に伝えられるようにしていきたいと思う。



はじめまして、城北プロコン塾 6 期生の安藤雅光と申します。実は私、診断士登録をしたのは 10 年も前なんです。当初は実務補習の指導教官が所属する城南支部に登録してみたものの、何をしてもなく、（というより何をしたらいいのかまったく分からずに）会費だけを払う幽霊部員として生活をしていました。じゃあなんで診断士なんか取ったの？と思われるかもしれません。はい、よく聞かれました。それには涙もちょちょぎれる悲しいお話があるんです。

私は某 T 大学大学院を修了後、大手製薬会社に研究員として就職します。まわりからは「あらまあ、順調な人生ねー」などと言われるパターンです。しかしその実、私が入社した半年後に会社はより大きな会社に吸収合併され大混乱の渦の中に巻き込まれていきます。私も変化に飲み込まれ、2 度、3 度と所属を変えていき、時に窓際の席に座ったりもしました。あれ、私まだ若いのになあなどと思いつつ。そのなかで「自分が社長だったらこの合併はしなかったな」とか「合併した後にみんなが生き生き働くためにはどうしたらいいかな」などと経営に関する興味がムクムクと湧いてきたのです。そうです、（自称）経営コンサルタント安藤雅光の誕生です。

あまり中小企業診断士の資格と縁のない、製薬会社の研究員がどれだけ経営コンサルタントとして活躍できるのか、いまだに自分でもわからないこともあります。ただ生物学という学問を、博士号をとるまでに追求してきた探求心、そして常に新しいことを考え失敗を恐れなくて突き進むことができる自分の性格を信じて、今後も新しいことにどんどん挑戦をしていきたいと考えています。今回、城北プロコン塾に縁あって参加させていただき、もう一度診断士として再スタートを切りたいなと願っております。何かお役に立てることがあれば、お気軽にお声がけいただけたら幸いです。よろしくお願いたします。

改めて城北支部の研究会・同好会を紹介いたします。城北支部には新たに公的サポート研究会も誕生しました。あなたにピッタリの研究会がきっとあるはずです！ぜひ情報をキャッチして参加をご検討ください。

経営革新研究会

代表者：八巻 優悦

連絡先：猿川 明 (akira@sarukawa.jp)

会の目的	<ul style="list-style-type: none">・企業が経営環境の変化に対応し、先取りし、勝ち残っていくために「経営革新」は必要不可欠。・当研究会は、「中小企業の経営革新の取り組み支援する」そのため経営革新の取り組み手法、事例を研究し、知識・スキルの向上を図る。
主な活動	<ul style="list-style-type: none">・定例会：毎月第2土曜日（原則）・開催場所：ハイライフプラザいたばし or 板橋区企業活性化センター・内容：会員による経営革新への取り組み事例・手法・研究テーマの講演と討議、情報交換

実践経営勉強会

代表者：村上 章

連絡先：小黒 光司 (oguro@mqb.biglobe.ne.jp)

会の目的	<ul style="list-style-type: none">・中小企業診断士、他士業、行政担当者、地域中小企業経営者等を講師に迎え、企業経営に関するさまざまなテーマについて勉強する。・時代に応じたトピックス等に対して、会員間の情報共有ならびに意見交換をはかる。
主な活動	<ul style="list-style-type: none">・定例会（毎月第2水曜日）・中小企業の経営者や経営幹部と共に学ぶ場・区内行政機関との連携

KSF 企業内診断士フォーラム

代表者：堀口 英太郎 連絡先：(info@ksf-consultant.jp)

会の目的	<ul style="list-style-type: none">・企業内診断士が実務案件に従事できる機会を提供する。・所属企業の業界研究や勉強会を通じてノウハウの蓄積、スキル向上を図る。・会員相互の交流を通じて、診断士ネットワークを構築する。
主な活動	<ul style="list-style-type: none">・定例会（偶数月第4火曜日）・商店街支援、地域活性化支援、創業支援等

情報診断研究会

代表者：山倉 一記

連絡先：山倉 一記 (yamakura@mitsuiwa-eng.com)

会の目的

- ・中小企業のIT化支援、ITによる技術革新、ITビジネスに関する各種テーマについて調査・研究
- ・参加会員のITスキルおよび情報活用能力の向上

主な活動

- ・定例会（奇数月第3または、第4木曜日 18:30～20:00）
- ・会員または、講師による講義、意見交換
- ・今年度のメインテーマは「クラウドコンピューティングの活用」

ロジスティクス研究会

代表者：平野 修

連絡先：平野 修 (zouzou@sea.plala.or.jp)

会の目的

- ・効率的かつ社会ニーズに適應する物流システムの構築を、荷主、物流企業双方に提案できる能力の滋養。
- ・物流関連業界における企業診断の機会獲得およびビジネスチャンスの発掘

主な活動

- ・定例会（奇数月第三水曜日 18:45～20:45 中央区内の区民館等）
- ・会員、専門家からの発表、物流現場の見学会、企業訪問等

社長川柳研究会

代表者：長谷川 猛

連絡先：中間 浩一 (knakama@sc.dcn.ne.jp)

会の目的

- ・いつも厳しい経営環境にある社長（経営者）の気持ちを川柳で表現することにより、社員とは違う社長の立場を理解し、中小企業診断士としてのスキルを磨く。

主な活動

- ・定例会（隔月第3土曜日を基本）、
- ・活用事例30分、ディスカッション・講評30分
- ・社長川柳トランプの作成と活用

観光経営研究会

代表者：長谷川 猛

連絡先：中間 浩一 (knakama@sc.dcn.ne.jp)

会の目的

- ・ 中小企業診断士として観光経営に関わる企業や地域に提案できる診断能力を育成する。
- ・ 観光関連業界における各種診断の機会獲得およびビジネスチャンスを発掘する。

主な活動

- ・ 定例会（隔月第3土曜日を基本）社長川柳研究会と同日開催
- ・ 観光への取り組み状況のベンチマーク、テーマ別研究会の実施、コンサルティング活動

診断士力向上勉強会

代表者：金 成一

連絡先：高木 悠 (yuu.takaki@gmail.com)

会の目的

- ・ 中小企業診断士活動や日常のビジネス活動を行うにあたって必要となる企業経営に必要な周辺
- ・ 知識、専門スキルをその専門家から学び、中小企業診断士としての創造力、提案力、総合力向上

主な活動

- ・ 定例会（平日（金曜日）土曜日午前を中心に開催）
- ・ 研究内外から講師を招き、勉強会を実施
- ・ 知識活用の場として、中小企業や創業予定者などへの実務を通じたサポート

企業経営研究会

代表者：

連絡先：佐藤 正浩 (msato@kxf.biglobe.ne.jp)

会の目的

- ・ 『経営』に関し幅広く研究します。
- ・ 経営理念、経営戦略、経営手法、等、経営の根幹に関わる事柄について、具体的に議論していきます。
- ・ 企業経営の実態把握の方法、資金分析、「中小会計要領の手引き」の活用法、等、経営の基本となる財務分析についてスキルアップを図ります。

主な活動

- ・ 定例会（原則、毎月第1土曜日 14:00～18:00）
- ・ 経営の本質に触れる各種ケーススタディ、講演などを体系的に取り上げ研究します。

地域施策研究会

代表者：阿部 隆

連絡先：越山 陽子 (dkanban@gmail.com)

会の目的

- ・国や地域の施策について知識を深め、中小企業への提案に活かす

主な活動

- ・原則、偶数月開催 平日 19:00～
- ・国や地域の施策に関する知識を得て共有する
- ・研究会員による発表を行い、業界の知識を得る

産学官連携研究会

代表者：木野 直之

連絡先：木野 直之 (kapii@nifty.com)

会の目的

- ・産学官連携（域学連携）の推進を支援し、地域活性化を行う

主な活動

- ・定例会（隔月 第3土曜日 18:00～20:00）
- ・発表者を1名決め、研究事例発表を行う
- ・発表内容について研究会メンバーで議論し、ブラッシュアップを行う
- ・大学教授等の有識者を講師として招いて勉強会を実施

健康経営研究会

代表者：横小路 八重子

連絡先：横小路 八重子 (yokoyoko4828@gmail.com)

会の目的

- ・健康経営という考え方の普及と一般化
- ・健康経営における適切なビジネスモデルの提案
- ・業種と企業規模による健康経営のあり方の研究

主な活動

- ・原則毎月1回開催。当面は奇数月
- ・開催場所：板橋グリーンホール、北とぴあ等の公的施設
- ・時間：平日 19:00～21:00 開催内容により平日日中、土曜日午後

公的サポート研究会

代表者：岩井 智洋

連絡先：岩井 智洋 (iwai.tomohiro@gmail.com)

会の目的

国や都道府県等の公的な中小企業支援について学び、中小企業だけでなく多様化する社会課題や地域課題などについても触れながら実務的な案件を通して中小企業診断士の支援能力を高めることを目的とする。

主な活動

- ・ 定例会：隔月（奇数月）第3木曜日 19:00～21:00（原則）
- ・ 開催場所：都内会議室（調整中）
- ・ 内容：変化する中小企業支援の理解と活用などを検討し、個別企業や地域を実際に支援しながら知識・スキルだけではなく中小企業診断士として求められる実践能力の向上を図りながら支援のあり方を学ぶ。

テニス同好会

代表者：朝倉 久男

連絡先：椿山 道正 (1789chinzan1789@yahoo.ne.jp)

会の目的

- ・ テニスを通じた会員同士の交流の場を設け、参加した診断士の専門分野の情報連携を通じ、会員の知見を深める。
- ・ テニスを通じ、会員の健康への気付きおよび健康増進を図る。

主な活動

- ・ 土曜日または日・祝日にテニス会と懇親会を開催。
- ・ 開催場所：都内及び都内近郊の貸コート中心。

*本研究会の情報は、城北支部HPのパンフレットのリンクサイトに掲載している内容と同じものです。

本誌に関する皆さまのご意見、ご要望をお待ちしております

①皆さまがお持ちの“ネタ”を提供してください

- ・研究会・区会の活動を紹介したい、または、ご自身のセミナーを紹介したい。
⇒広報部員が潜入します。
- ・ご自身の特技を紹介したい。支部内の方と交流したい。
⇒「今月の城北人」のコーナーで紹介します。
- ・診断士としてのノウハウを紹介したいなど。
⇒特集記事化します。

②皆さまが知りたいことを教えてください

- ・企業内診断士の活動状況が知りたい。
 - ・独立するには、どうしたらいいかを知りたい。
- ⇒各種 特集を組んで記事を作成します。

③読者としての（批判も含め）感想をお聞かせください

- ・批判的な内容もお願いします。今後の改善に活用させていただきます。

④本誌編集スタッフ募集中

- ・「隙間時間にちょっと」「アイデアを出すだけ」でも構いません。
- 下記の連絡先までよろしくお願いたします。



johoku.kouhou@gmail.com

JOUHOKU SHINDAN 誌
2019年1月15日発行
発行者：城北支部長 長谷川 猛
編集者：城北支部 広報部